



ヒートポンプ給湯

▶ 富山県富山市

医療法人財団 北聖会 **北聖病院**贈呈
理由

**エコキュートをはじめとする高効率機器の採用で、
省エネルギー建築(ZEB Ready)を実現**



医療法人財団 北聖会 北聖病院

医療福祉で地域に貢献 施設の老朽化により移転新築

北聖病院は、富山県富山市大沢野町に所在する北陸電気工業株式会社が、創業40周年を記念して、また会社を育てていただいた地域社会に医療福祉面で利益還元する趣旨から、1981年4月に開院された。84年4月に「医療法人財団 北聖会」を設立、2004年10月には、現理事長が病院を北陸電気工業(株)より買い取り、近代的医療の充実と、公正な医療活動を通じた地域社会への奉仕という財団の基本方針を継承し、現在に至っている。

そして、19年2月に、施設の老朽化に対応するため、元の病院より200mほ

ど離れた同町内に新病院を移転新築して新しく一步を踏み出した。

高効率な建築・設備の採用により 利用者に快適な環境を提供

新病院建設のコンセプトは、「断熱、設備などの高性能化を図り、パッシブ(建築省エネルギー技術)とアクティブ(設備省エネルギー技術)双方の技術を活かし、外来、入院患者をはじめ、付き添い、面会者に対しても快適な環境を提供する。」である。さらにBEMS導入により、設備ごとの運転管理とエネルギー管理を行い省エネルギー建築(ZEB Ready)を実現すると共に、病院スタッフへのエネルギーに対する関心度の向上と、職場に関する快適指数の



業務用エコキュート

向上を働きかけている。

空調、給湯、照明、換気の各設備には高効率設備を導入すると同時に人感・照度センサーによる運転制御を取り入れており、特に、給湯システムには業務用エコキュートを導入し、従来より大幅な省エネルギー化を実現、CO₂削減による環境負荷低減と、ピークシフトによるランニングコストの削減にも寄与している。

これからも、さらなるエネルギーの効率的な運用に継続的に取り組んでいくとともに、研究会などを通じた医療レベルの向上を図り、思いやりと謙虚な心で患者さまに接し、自分の家族を安心して任せられる病院を目指していく。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	ガス給湯器 一次エネルギー消費量:1,399GJ
採用システム	業務用エコキュート 一次エネルギー消費量:944GJ



[諸元] 同一負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値 ※電気(夜間)9.28MJ/kWh
※都市ガス45MJ/Nm³(日本海ガス)
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」



受付



ナースステーション

医療法人財団 北聖会 北聖病院

所在地: 富山県富山市下富居2-1-5
建築設計: (株)アレックス
建築施工: 前田建設工業 日本海建興共同企業体
設備設計: (株)アール・エ北陸
設備施工: (株)新栄電設、富山空調電設(株)
延床面積: 3,822m²
竣工: 2018年12月新設
URL: <https://www.hks-kai.org/>

■ 設備概要

業務用エコキュート15kW×8台
(日立グローバルライフソリューションズ)
貯湯槽13.4m³